

千代田せいが保育園の保育とは



園の概要

開園 平成31年(2019年)4月

定員51名

(乳児から6・7・8・10・10・10)

開園時間 7:30~18:30

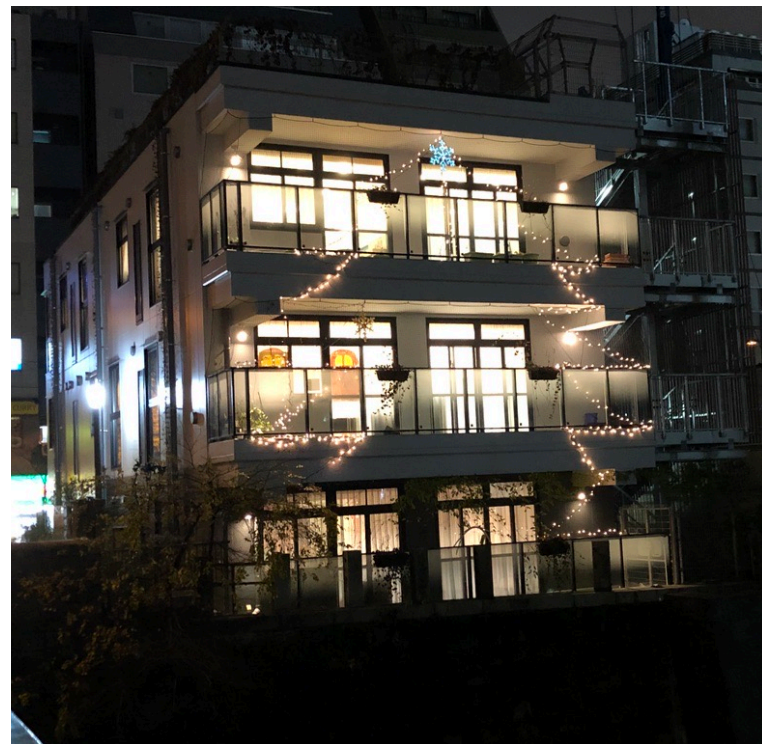
延長保育 18:31~20:30

職員 (常勤18名)

• 保育士12名 主任1名

(乳児から3・3・3・1・1・1)

• 栄養士2名 看護師1名 園長1名
事務長1名)



空間 3階建て 都市型 園庭なし

- 屋上 プール 菜園
- 3F 3～5歳
- 2F 2歳 ダイニング
- 1F 0～1歳

○ 壁面緑化・非常時の太陽光発電

○ 屋外の排気ガスをチャットアウト コロナ対策にも




保育の主な特徴 ①

- 「見守る保育・藤森メソッド」に基づく園舎と保育内容 三省・5M・10ヶ条
- 子ども主体の保育 自己決定の尊重 自由と責任（選択・参加・参画）
- 縦割りではない異年齢児保育（個別最適な学び）学年でわけない 生活空間がオープン
- 子ども同士のかかわり（協同的学び）
- チーム保育（子どもの多様な経験・子どもの多面的理解）
- 園庭を学びのゾーンに 都市型の園庭のない園 地域での協同保育 自然を活かす保育

保育の主な特徴 ②

- (空間) 施設設備の特徴 (学校モデルとは異なる生活の空間・持続可能な社会を見越した21世紀型保育空間=エコ・太陽光発電・音環境)
- (空間) 発達にあった3ステップの発達ステージ (01歳・2歳・345歳)
- (遊び) 遊びのゾーン 学びのミュージアム 探究リソース **STEM保育・実験**
- (生活) 当番活動/**お手伝い保育**
- (生活) 対話・会話/**ピーステーブル/子どもミーティング/こどもかいぎ** (映画)
- (食育) **3つの都知事賞** (献立表/セミ・バイキング/栽培～楽しい食事・共食)
- (食育) **味の探究活動**
- (睡眠) 早寝早起き朝ごはん すべての保護者が受講する睡眠講座



見守る保育・藤森メソッド ～5つの特徴～ 全国展開 海外へ普及

- 子ども主体の保育 自己決定の尊重 自由と責任（選択・参加・参画）
 - 子ども同士のかかわり（協同的学び）
 - 縦割りではない異年齢児保育（個別最適な学び）学年でわけない生活空間がオープン
 - チーム保育（子どもの多様な経験・子どもの多面的理解）
 - 園庭を学びのゾーンに
-

保育環境研究所ギビングツリー (GT) 藤森平司が作り上げた保育 ホームページ

02 全国各地の実践園を見学したい方

見守る保育藤森メソッドは全国各地に実践園があります。新宿せい子ども園の見学だけでなく、各実践園の実践事例や環境を見学することも可能です。

近隣の見守る保育藤森メソッド実践園と繋がりを作る良い機会にもなります。

※各地域の実践園の都合により見学依頼をお受けできない場合がございます。



CONCEPT

新しい時代に対する保育方法



見守る保育藤森メソッドの5つの要点

- 01 かかわりを大切にした保育
- 02 子ども主体の保育
- 03 個別最適な支援
- 04 チーム保育
- 05 学びの園庭

> 見守る保育藤森メソッドを詳しく知る





見守る保育・藤森メソッド 保育の理念・方針・目標・方法

保育理念「共生と貢献」

保育方針「子どもの主体性を育てる保育」

保育目標「自分らしく意欲的で思いやりのある子ども」

保育方法「見守る保育」

子ども同士の関わり

共感や思いやり・アタッチメント

自己調整力をもった行為主体性

違いがわかり人と関わる力が育つ

赤ちゃんからの子ども同士のかかわり



クラスの
ブログを
ぜひご覧
ください



個別最適な支援（異年齢など）

子どもの人権を保障する保育

個々の発達過程に応じた保育

（学）年齢・性別・国籍・人種・障がいなどで区別しない保育

子ども主体の保育

自分がやりたいことができる力を育む

自ら考えて判断し選択し行動できる

子どもに参加や参画の機会を用意する保育

チーム保育

子どもの主体性を育むため

子ども理解のため

職員の多様性を活かすため

園庭を学びの空間へ

園庭も学びや探究の場へ

運動・自然・開放感

地域との重なり合い

日々の姿は「保育ドキュメンテーション」 フロー情報 ホームページで「学びの物語」 保育アーカイブ

ホームページ「保育アーカイブ」 10の姿 / はじまりシリーズ/ 東京すくわく など

- スマホに届く保育内容
- HPはアーカイブ機能
- ID : chiyoda
- パスワード: ****
- (4月に変えます)

バックナンバー

- 2020年
- 2019年

カテゴリー

- 園長の日記
- 園からのニュース
- 感染症情報
- お知らせ
- 防災情報
- Mam'sSalon
- 園だより
- ちっち
- ぐんぐん
- にこにこ
- わらす
- 食事
- 行事

表現③自分の体の動きがアートになる遊び

2020/02/18



◆体の動きのつながりとアート感覚

アートってなんだろう。色々な定義や説明があるのですが、子どもの言葉を借りると「なんかいい!」という感じのことです。今日もその「なんかいい」といった男の子がいました。今日はダンスのアーティストが3人いらっちゃって、わんらんの子どもたちと体を動かして遊びました。体を動かして遊ぶ、といっても、いつもとちょっと違います。例えていうと、体の動きを、一つずつ丁寧にバラして感じとっていくプロセスがある、とあっていいでしょう。あるいは、粗大運動の中の微細運動といってもいいかもしれません。

◆いろいろな身体遊び

やったことは、正式な名前があるわけではないのですが、今日楽しんだ子には多分、こう言ってもらえたら通じると思えます。一人スキップ、二人スキップ、やさしいだっこ、マネキンとデザイナー、片手によるよろ、両手によるよろ。どれ